

## Ⅱ 大学入試センター試験を課す推薦入試

## 1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注1)
天王寺 (注2)	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		3人
		小学校教育専攻	昼間コース	10人
			夜間5年コース	5人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		7人
		小中教育専攻	学校教育コース	7人
			国語教育コース	7人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	7人
			家政教育コース	3人
			音楽教育コース	3人
		中等教育専攻	国語教育コース	3人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	4人
			家政教育コース	3人
			保健体育コース	5人
	音楽教育コース		3人	
教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	7人	
		多文化リテラシーコース	15人	
教育学部合計				100人

(注1) 合格者数(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

(注2) 初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学予定です。

## 2 出願資格及び要件

次のいずれかに該当する者で、平成31年度大学入試センター試験において、本学が各募集区分で指定した教科・科目(47～51頁の「平成31年度大学入試センター試験を課す推薦入試の実施教科・科目等について」を参照)を受験する者。

なお、大学入試センター試験の外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。(リスニングテスト免除者は除く。なお、配点については47～51頁を参照)

課程・専攻	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 教育学、心理学、道徳教育学に深い関心を持ち、将来、学校教育の教員を強く志望する者</p>

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者で、国語の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の英語の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.6以上の者で、音楽の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の音楽の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者で、国語の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>(3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体若しくは個人種目で全国大会へ出場した者又は個人種目で各地区高体連主催の大会においてベスト8以上の成績を収めた者</p> <p>陸上競技，バスケットボール，サッカー，ラグビーフットボール，バレーボール，ハンドボール，卓球，硬式テニス，ソフトテニス，硬式野球，バドミントン，体操競技，ダンス，柔道，剣道，水泳競技（競泳）</p> <p>各地区高体連主催大会名（個人種目のみ対象）            全道高校体育大会，東北高等学校選手権大会，関東高等学校体育大会，北信越高等学校体育大会，東海高等学校総合体育大会，近畿高等学校（種目名）大会，中国高等学校選手権大会，四国高等学校選手権大会，全九州高等学校体育大会</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.6以上の者で、音楽の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者</p>
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>(3) 将来、高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む者、又は英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む者</p>
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者</p>

### 3 出願期間・出願方法等

#### (1) 出願期間

平成30年11月1日(木)から平成30年11月6日(火)まで(11月6日必着)

#### (2) 出願方法

大阪教育大学では平成31年度入試より、出願方法が「インターネット出願(インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する方法)」に変わりました。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続が完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

- A インターネットによる出願登録
- B 入学検定料等(支払手数料含む)の支払い
- C 出願に必要な書類等の郵送での提出

#### 【出願受付期間】

A インターネット出願登録期間	平成30年11月1日(木)9時~平成30年11月6日(火)12時(日本時間)
B 入学検定料等の支払期間	平成30年11月1日(木)9時~平成30年11月6日(火)12時(日本時間)
C 出願書類の郵送受付期間	平成30年11月1日(木)~平成30年11月6日(火)必着

この期間中に、インターネット出願登録と入学検定料等の支払いを完了し、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。

必要書類等の受付は、郵送(書留速達)のみとし、出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも11月3日(土)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。また、出願受付期間最終日の11月6日(火)のみ、午前9時から17時まで、大阪教育大学入試課(柏原キャンパスC1棟1階)へ持参を認めます。

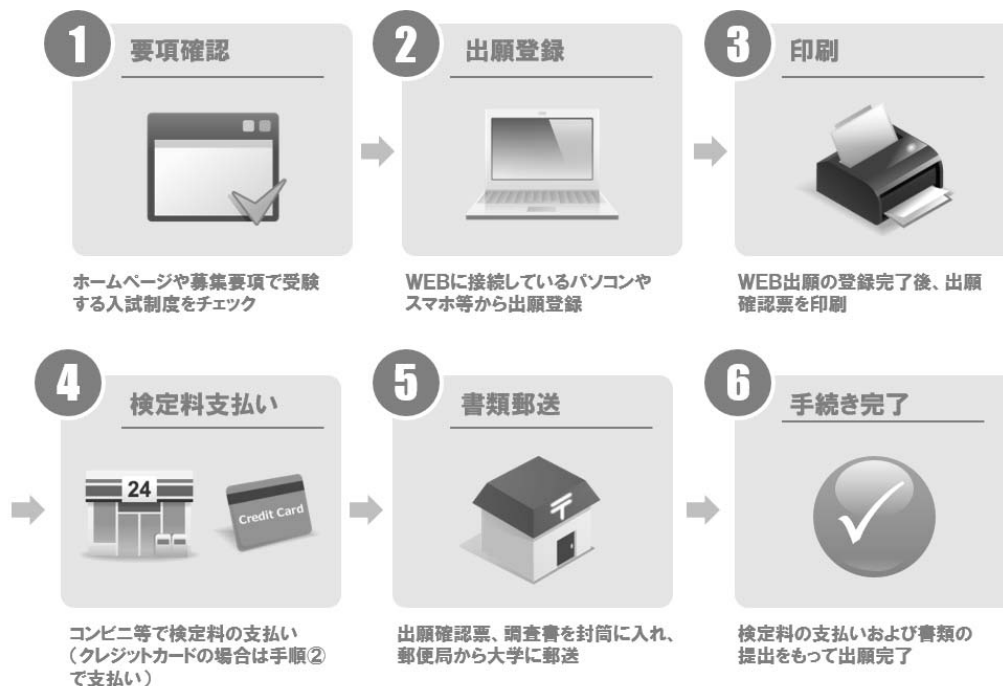
インターネット環境がない等の理由で、「A インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。

大阪教育大学入試課：072-978-3324(入試課直通)

※出願登録期間中、入試課窓口に設置する出願用パソコン・プリンタを利用することができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日(9:00~17:00、ただし6日は9:00~12:00)

#### 【出願の流れ】



#### (3) 出願手順(インターネット出願)

大阪教育大学 入学試験 インターネット出願登録ページ

<https://sak-sak.net/app/oku>

※本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。



前頁のインターネット出願登録ページへアクセスし、重要事項が記載されている「**利用案内**」「**出願手順**」「**Q&A**」を必ず確認した上で、出願手続きを行ってください。

【登録前に準備するもの】

インターネット出願は登録中であっても、30分間何の処理も行わなかった場合は、データが消去されてしまいますので、ご注意ください。

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。なお、大阪教育大学入試課にインターネット出願用のパソコンを設置しております。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。白黒印刷でもかまいません。自宅にプリンタ等がない場合は、学校等のプリンタ等から出力してください。なお、大阪教育大学入試課にインターネット出願用のプリンタを設置しております。
メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真	2枚（同一）必要です。カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm x 横3cm、3か月以内に撮影したもの。
出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。
封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm x 33.2cm）をご用意ください。
JAPAN e-Portfolioへの学びのデータの登録	学びのデータを「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」の登録を通じて提出する場合は41頁（7）を参照に学びのデータを登録してください。利用されていない方は、何もする必要はありません。

【出願登録受付期間】

平成30年11月1日（木）9時00分～平成30年11月6日（火）12時00分（日本時間）

【登録方法】

- ① アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）及び個人情報の取り扱いについて同意したうえで、「出願開始」ボタンをクリックしてください。
  - ② 画面の指示に従って、「志願票選択」、「試験選択」、「志願先選択」画面で受験する区分、専攻、コース等を選択してください。なお、志望する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。  
注) 実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先付属情報」で入力してください。
  - ③ 画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、または「科目確認」で受験する科目の確認、「試験場確認」を行ってください。
  - ④ 「試験選択」「選択中試験内容」を確認して、間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。
  - ⑤ 画面の指示に従って、志願者の個人情報を入力してください。メールの受信確認は出来る限り行ってください。
- ※Japan e-Portfolio と連携させる場合は、JeP 個人情報取得ボタンから画面の指示に従ってください。
- ⑥ 画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。
  - ⑦ 出願確認票の印刷  
A4サイズの白の用紙に印刷（カラー推奨・白黒可）してください。
  - ⑧ 入学検定料等の支払い  
次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。
    - a クレジットカード、ネットバンキング  
画面に従って、支払い手続きを行ってください。
    - b 指定のコンビニエンスストア及びPay-easy（ペイジー）取扱い金融機関のATM
      - i 支払方法を選択し、表示される受付番号等（※）をメモするか、画面を印刷してください。  
※支払いのための受付番号等は、出願受付番号とは別の番号です。

- ii 受付番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続きを行ってください。  
 詳細はインターネット出願登録ページの「ご利用方法について」でご確認ください。

- ⑨ 必要書類等の郵送  
 必要書類等を書留速達により郵送してください。

**【出願書類の郵送受付期間】**

平成30年11月1日(木)～平成30年11月6日(火) (必着)

郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日(土)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)なお、郵送受付期間最終日の11月6日(火)のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課(柏原キャンパスC1棟1階)への持参を認めます。

注意 インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を郵送(必着)する必要があります。

郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

**(4) 入学検定料等の支払い方法**

- ①入学検定料等 17,372円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代372円)。  
 ただし、夜間5年コースは10,372円(検定料10,000円と受験票送付用郵便代372円)。  
 入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(450円)がかかります。

②支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
〔 クレジットカード VISA,MasterCard 〕	◆入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
〔 ネットバンキング ジャパンネット銀行、ゆうちょ銀行 楽天銀行、じぶん銀行等 〕	
〔 コンビニエンスストア ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 セイコーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス、 デイリーヤマザキ 〕	◆各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願ページ内の「コンビニでのお支払い」をご確認ください。 ◆支払い後、決済データの反映に数時間かかります。 ◆領収書のコピーを提出用書類に貼付してください
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	◆取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。 ◆明細票のコピーを提出用書類に貼付してください。

**【入学検定料等の支払い受付期間】**

平成30年11月1日(木)9時00分～平成30年11月6日(火)12時00分(日本時間)

③注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料は58頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

[https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku\\_menjyo.html](https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html)

(5) 出願書類等

	書類等	提出該当者	摘 要
インターネット印刷物のインターネット出願登録内容	① 出願確認票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。コンビニエンスストアやPay-easy(ペイジー)を利用可能なATMで入学検定料等を支払った場合は、領収書(明細票)のコピーを所定の位置に貼り付けてください。
	② 写 真 票	全 員	写真が2枚(同一)必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑦、⑩は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑤ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書 ※	保健体育コース志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において <b>所属チームのすべての試合</b> の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 志 望 理 由 書	学校教育コース以外の志望者	本学所定の様式に志願者が自筆で作成してください。 字数については、次頁の「【参考】志望理由書の字数について」を参考に定められた字数で作成してください。
	⑧ 英語能力測定試験に関する証明書 ※	英語教育コース・英語コミュニケーションコース志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、39～43頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 <b>コピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出</b> してください。
	⑨ 英語活動に関する証明書 ※	英語教育コース志望者のみ	スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている者で、点数加算を希望する場合は、英語での活動内容が客観的に証明できる書類(表彰状などコピー可)を提出してください。提出していただいた表彰状などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 <b>コピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出</b> してください。
	⑩ 伴 奏 用 楽 譜	幼児教育専攻及び音楽教育コース志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4版とし志願者氏名を明記してください。(1頁の大きさはB5版としてください。)
	⑪ センター試験成績請求票送付用紙	全 員	大学入試センター試験成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズでプリントアウトし「平成31センター試験成績請求票」(国公立推薦入試用)を貼付して、平成30年12月20日(木)必着で郵送してください。

※⑥「競技成績に関する証明書」、⑧「英語能力測定試験に関する証明書」、⑨「英語活動に関する証明書」については、「JAPAN e-Portfolio」で学びのデータとして登録し、インターネット出願ページを経由して提出することができます。提出方法については、41頁『(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について』を確認してください。

【参考】志望理由書の字数について

専攻・コース等	指定字数
幼児教育専攻	600字程度
小学校教育専攻 昼間コース	800字程度
小学校教育専攻 夜間5年コース	800字程度
特別支援教育専攻	800字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 国語教育コース	1,200字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 社会科教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 家政教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 音楽教育コース	800字程度
中等教育専攻 保健体育コース	600字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	400字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	400字程度

(6) 英語能力測定試験等の成績利用

1. 学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース

小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合、若しくは英語での活動における受賞歴等がある場合は、大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。ただし、(ア)と(イ)の合計点は50点を超えないものとします。

(ア) 本学が定める大学入試センター試験の得点の合計点に加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお、利用できる英語能力測定試験は高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

センター試験への得点加算	実用英語技能検定(英検)	TOEFL iBT	IELTS *	TOEIC (LR)	GTEC for STUDENTS**	GTEC (4技能)**	GTEC (3技能)**
50点	準1級以上	80以上	6.0以上	730以上	800以上	1190以上	730以上
30点		65以上	5.0以上	600以上	680以上	1070以上	650以上

\* IELTSはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。  
\*\* GTEC for STUDENTS, GTEC (4技能), GTEC (3技能)は検定受検だけではなく、通常受検も対象とします。

**英語能力測定試験の提出書類** (小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コース)

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入試センター試験の得点の合計点に加算することを希望する場合には、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。(英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。)

英語能力測定試験	提出書類(成績証明書など)
実用英語技能検定(英検)	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form(成績証明書)
TOEIC (LR)	TOEIC Official Score Certificate(公式認定証)

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
GTEC for STUDENTS	GTEC for STUDENTS Score Report
GTEC（4技能）	Score Report
GTEC（3技能）	Score Report

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

- (イ) スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている場合は、50点を上限として、大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで加算します。ただし、高等学校入学以降のものに限ります。

点数加算を希望する場合は、英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を用意して必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。

## 2. グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する次の等級又はスコアを取得している場合は、大学入試センター試験と個別学力検査「面接」の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、利用できる英語能力測定試験は実用英語技能検定（英検）については高等学校入学以降、他の英語能力測定試験は出願最終日から遡って2年以内に受検したものを対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への得点加算	実用英語技能検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS *	TOEIC + TOEIC SW**	GTEC CBT
180点	準1級以上	80以上	6.5以上	1090以上	1200以上
60点		65以上	5.5以上	890以上	1050以上
30点		60以上	4.5以上	790以上	1000以上
10点		55以上	4.0以上	770以上	950以上

\* IELTS はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

\*\* 「TOEIC テスト」及び「TOEIC SW テスト」両試験の受検及びスコアを必須とします。

### 英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入試センター試験と個別学力検査「面接」の得点の合計点に得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC + TOEIC SW	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証） 及び TOEIC Speaking and Writing Test Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT	GTEC CBT Score Report

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

## (7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について

本学では、文部科学省大学入学選抜改革推進委託事業（主体性等分野）に参画し、多面的・総合的評価の実現をめざしています。当該事業で開発された高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」を通じて学びのデータの提出を行うことができます。提出いただいたデータは、以下の目的で利用させていただきます。

### ■利用目的

i 入学選抜に係るデータとして利用（主体性評価として利用）

下表の専攻・コース志願者のみ、入学選抜に係るデータとして利用します。

ii 参考・参照利用（今後の入学選抜改革に向けて参考にします。）

下表の専攻・コースの志願者以外については、入学選抜に利用せず、参考・参照資料としてのみ利用します。可否には一切影響しませんので、提出にご協力いただける方は、任意での提出をお願いします。

i に該当する方で、JAPAN e-Portfolioを利用していない方は、証明書等を紙で提出していただくこととなりますので、38頁⑥⑧⑨を参考に本学所定の様式等を他の出願書類と共に提出してください。

※詳細につきましては、<https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>をご覧ください。

### JAPAN e-Portfolioを利用する専攻・コース等

課程・学科	専攻	コース	備考
学校教育教員養成課程	小中教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
	中等教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
		保健体育コース	競技成績に関する証明書の代わりとして利用
教育協働学科	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	英語能力測定試験の加点に利用

## 1. 学びのデータの登録方法

- ① 出願にあたって、競技実績、活動実績、資格・検定等を事前に「JAPAN e-Portfolio」（<https://jep.jp>）へ入力しておく必要があります。  
※既に利用している場合は、以下⑥～⑦の手順を確認し、漏れが無いか確認してください。
- ② 「JAPAN e-Portfolio」を利用するためのIDは、高等学校教員から発行してもらってください。
- ③ IDが交付されたのち、「JAPAN e-Portfolio」にてパスワードの設定を含む初回登録を行うと利用できるようになります。
- ④ ID・パスワードを使用してログインし、最初にプロフィールの登録を行ってください。
- ⑤ トップ画面の「学びのデータを登録」から該当する項目を選択し、画面の指示に従って基本情報を登録してください。
- ⑥ 基本情報登録後「学びのデータを追加」を選択し、学びのカテゴリについて該当する競技実績、活動実績、資格・検定等をすべて入力してください。  
※ 学びのデータ入力に際しては、必ず競技実績、活動実績を証明する賞状、証明書や文書、写真、大会公式記録、合格証等の添付、または各種実績等が確認できるウェブサイトのURLを記入してください。
- ⑦ 「学びのデータ」の各項目のうち、特に出願時必須項目については必ず入力を行うとともに、承認必須項目について高等学校の教員（顧問等）の承認を受けてください。なお、学外での活動実績については、⑤で「学校以外の活動」を選択した上で、成績入力後に活動証明書を印刷メニューで印刷し、学外の指導者の証明を受けたものを、スマートフォン等で画像にし、学びのデータに添付してください。

## 2. 学びのデータを主体性評価の利用のために提出する場合

### ☆ 競技成績に関すること

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課す推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し「大学提出用データ選択画面」にて、表示された学びのデータから「大会・試合の結果」「代表への選抜履歴」「段位の取得等」「ベスト記録・通算記録」「役職の履歴」「雑誌新聞等の記事」を選択してください。

選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、以下記載のコードと合っているか確認してください。

※部活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
D100	基本情報	
D101	大会・試合の結果	3つまで選択可
D102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
D103	段位の取得等	該当する場合選択
D104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
D105	役職の履歴	該当する場合選択
D106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

※学校以外の活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
E100	基本情報	
E101	大会・試合の結果	3つまで選択可
E102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
E103	段位の取得等	該当する場合選択
E104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
E105	役職の履歴	該当する場合選択
E106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

- ⑥ 「大学提出用データ作成画面」で「大学指定情報を入力する」を選択し、「大学指定情報登録画面」にて「出願先大学からの入力指定」で「入力指定あり」を選択、「テキスト入力指定」にチェックを入れ、タイトル欄に「身長・体重」、内容欄に「身長：●●センチメートル、体重：●●キログラム」と入力してください。

※●●はご自身の値を入力下さい

- ⑦ 「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

### ☆ 英語能力測定試験に関すること

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。

- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課す推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し「大学提出用データ選択画面」にて、表示された学びのデータから「資格・検定」を選択してください。  
選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、「H001 資格・検定」となっているか確認してください。
- ⑥ 「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。  
※英語活動における受賞歴等の場合は、「G001 表彰・顕彰」などで提出してください。

### 3. 学びのデータの参考・参照データとして提出する場合（任意提出）

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ③ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「参考情報」と入力してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択してください。
- ⑤ 「大学提出用データ選択画面」で、「学びのデータ」から、提出してよいものを選択してください。（この際、提出を控えたいデータは外することができます。提出を控えたいデータがある場合はチェックを外してください。）

#### (8) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、平成30年10月10日（水）までに入試課へ相談してください。

【TEL：072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

【問い合わせ先】障がい学生修学支援ルーム（072-978-3479）  
受付時間：平日9：00～17：00

#### (9) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項（JAPAN e-Portfolioも含まれます。）が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した平成31年度大学入試センター試験の教科・科目を受験することを確認してください。（47～51頁，63～64頁参照）



## 4 入学者選抜方法等

### (1) 実施日 平成30年11月17日(土)

ただし、教育協働学科グローバル教育専攻多文化リテラシーコースは、志願者数によっては、11月18日(日)にも実施する場合があります。

### (2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間	
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	実技・面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	実技	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	実技 面接	10:00～13:00 14:30～

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。  
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

課程・学科・専攻・コース	検 査 時 間
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	実 技 10:00 ~
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	面 接 10:00 ~
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	面接 (11/17) 10:00 ~ 面接 (11/18) 10:00 ~ (※) ※ 志願者数によっては実施しない場合があります。

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。  
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

### (3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選 抜 方 法
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技、面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	大学入試センター試験(5教科7~8科目又は6教科7~8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書, 英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目), 出願書類(学校長が作成した調査書, 推薦書及び競技成績に関する証明書, 志望理由書), 実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書, 英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	大学入試センター試験(3教科3～4科目), 出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 平成31年度大学入試センター試験を課す推薦入試の実施教科・科目等について

センター試験を課す推薦入試で、大阪教育大学が課す平成31年度大学入試センター試験の利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。なお、平成31年度大学入試センター試験において、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合も、選抜の対象としません。

学部・学科等		大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
				試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計	
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250					950	1400
		地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※												
	数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1													
	理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ①~④から1※													
	外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等						150	300			450		
	昼間コース	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250	
地歴公民		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※													
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1														
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ①~④から1※														
	外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等								300		300		
	夜間5年コース	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250	
地歴公民		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※													
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1														
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ①~④から1※														
	外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等								300		300		
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻	国	国	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250	
		地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2												
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1														
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1														
	外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目]	個別学力検査等								300		300		

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表しています。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

学部・学科等		大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
				試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計		
教 育 部	学 校 教 育 専 攻	学校教育 コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2	センタ ー試験	200	200	200	100	250					950	1250
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	個別学 力検査 等								300	300		
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1													
		外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目]													
		国語教育 コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2	センタ ー試験	200	200	200	100	250					950	1250
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	個別学 力検査 等								300	300					
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目]															
英語教育 コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センタ ー試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★500						1200	1600	
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	個別学 力検査 等								400	400					
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①~④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに ④物, 化, 生, 地から1※															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可															
社会科学教育 コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2	センタ ー試験	200	★400	200	100	250						1150	1500	
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	個別学 力検査 等								350	350					
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目]															
家政教育 コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センタ ー試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250						950	1550	
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	個別学 力検査 等								600	600					
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①~④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに ④物, 化, 生, 地から1※															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7~8科目又は6教科7~8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可															

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表しています。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

学部・学科等			大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
					試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計	
		教科	科目名等													
教 育 部	中 小 教 育 専 攻	音 楽 教 育 コ ー ス	国	国	センター試験	200	100	100	100	250					750	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1												
	数	数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, } から 簿, 情報 } 1	個別学力検査等											600	600	1350
	理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1														
	外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5～6科目]														
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	中 等 教 育 専 攻	国 語 教 育 コ ー ス	国	国	センター試験	200	200	200	100	250					950	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2												
	数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1	個別学力検査等											300	300	1250
	理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1														
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]															
部	中 等 教 育 専 攻	英 語 教 育 コ ー ス	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★500					1200	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※												
			数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1	個別学力検査等										400	400
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ④物, 化, 生, 地から2 }															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可															
部	中 等 教 育 専 攻	社 会 科 教 育 コ ー ス	国	国	センター試験	200	★400	200	100	250					1150	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2												
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1	個別学力検査等											350	350	1500	
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]															
部	中 等 教 育 専 攻	家 政 教 育 コ ー ス	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250					950	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※												
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1	個別学力検査等												600	600	1550
理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ④物, 化, 生, 地から2 }															
外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目] ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可															

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に※印を付してある教科は、選択教科を表しています。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

学部・学科等		大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
				試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計	
学校教育 養成課程	保健体育 コース 中等教育 専攻	国	国	センター試験	200	100	100	100	250					750	1350
		地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1												
		数	数 I, 数 I・数A, 数 II, 数 II・数B } から 簿, 情報 } 1												
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1	個別学力検査等						250	200	150 (▲)	600		
		外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5～6科目〕												
学部 教育 協働 学科	英語コミュニ ケーション コース グローバル 教育専攻	国	国	センター試験	200	200	200	100	★500				1200	1800	
		地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 2												
		数	数 I, 数 I・数Aから1 数 II, 数 II・数B, 簿, 情報から1												
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1	個別学力検査等							600		600		
		外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕												
		国	国	センター試験	200	*100	*100	*100	250				550	850	
		地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1												
		数	数 I, 数 I・数A, 数 II, 数 II・数B, 簿, 情報 } から 簿, 情報 } 1												
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地から1 } から1	個別学力検査等								300	300		
		外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3～4科目〕												

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表しています。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

① 教科・科目名は次のように略しています。

国語→国, 地理歴史→地歴, 数学→数, 理科→理, 外国語→外

世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B, 現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 倫理, 政治・経済→倫・政経

数学I→数I, 数学I・数学A→数I・数A, 数学II→数II, 数学II・数学B→数II・数B, 簿記・会計→簿, 情報関係基礎→情報

物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基, 物理→物, 化学→化, 生物→生, 地学→地

英語(リスニング含む。)→英(リ), ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓

(注) 地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。センター試験出願の際には注意してください。

② 大学入試センター試験において、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科(物理, 化学, 生物, 地学)から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

③ 大学入試センター試験の外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者を除く。)

- ④ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。
- ⑤ 地理歴史及び公民については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せをいいます。
- ⑥ 理科については、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

#### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

センター試験の外国語で英語以外(ドイツ語, フランス語, 中国語及び韓国語)を受験している場合及びリスニングテストを免除されている場合は, 筆記試験200点満点を250点満点に換算した成績を用います。(ただし, 英語教育コースと英語コミュニケーションコースは500点満点に換算します。)  
(▲)は競技成績に関する証明書。



(5) 実技検査

(5) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
<p>初等教育教員養成課程 幼児教育専攻</p>	<p>次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 歌唱 下記の5曲から任意の1曲を歌う。 1) アイスクリームのうた (作詞：佐藤義美 作曲：服部公一) 2) マーチング・マーチ (作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一) 3) びわ (作詞：まどみちお 作曲：磯部俣) 4) 小さい秋みつけた (作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) 5) めえめえ見山羊 (作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世)</p> <p>(注) 1. 暗譜でなくてよい。 2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。 3. <u>選んだ曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜(移調して歌う場合は、移調した楽譜)に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p> <p>Ⅱ. ピアノ 平易な任意のピアノ演奏用独奏曲を1曲演奏する。 (注) 1. 独奏曲とは、ピアノのために作られた曲である。 他の楽器のために作られた曲は認めない。 2. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 3. <u>選んだ曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p>
<p>学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース</p>	<p>次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 歌曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) 浜辺の歌 成田為三 (As, F-Dur) 2) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜(正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの)に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。(ただし、浜辺の歌については2番までとする。) 3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>Ⅱ. ピアノ 次の1), 2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章(ただし緩徐楽章は除く) 2) ロマン派又は近現代の曲(ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。)</p> <p>(注) 1. 演奏は暗譜で、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>Ⅲ. 楽典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容</p>

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項																		
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	<p>保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト</p> <p>A. 体づくり運動は全員が行う。            B～Dの中から2つを出願時に選択すること。            出願後の変更は認めない。</p> <p>A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。            B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）            C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）            D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 陸上競技</td> <td>(7) 卓 球</td> <td>(13) ダンス</td> </tr> <tr> <td>(2) バスケットボール</td> <td>(8) 硬式テニス</td> <td>(14) 柔 道</td> </tr> <tr> <td>(3) サッカー</td> <td>(9) ソフトテニス</td> <td>(15) 剣 道</td> </tr> <tr> <td>(4) ラグビーフットボール</td> <td>(10) 硬式野球</td> <td>(16) 水泳競技（競泳）</td> </tr> <tr> <td>(5) バレーボール</td> <td>(11) バドミントン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) ハンドボール</td> <td>(12) 体操競技</td> <td></td> </tr> </table>	(1) 陸上競技	(7) 卓 球	(13) ダンス	(2) バスケットボール	(8) 硬式テニス	(14) 柔 道	(3) サッカー	(9) ソフトテニス	(15) 剣 道	(4) ラグビーフットボール	(10) 硬式野球	(16) 水泳競技（競泳）	(5) バレーボール	(11) バドミントン		(6) ハンドボール	(12) 体操競技	
(1) 陸上競技	(7) 卓 球	(13) ダンス																	
(2) バスケットボール	(8) 硬式テニス	(14) 柔 道																	
(3) サッカー	(9) ソフトテニス	(15) 剣 道																	
(4) ラグビーフットボール	(10) 硬式野球	(16) 水泳競技（競泳）																	
(5) バレーボール	(11) バドミントン																		
(6) ハンドボール	(12) 体操競技																		
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	<p>次のⅠ～Ⅳの検査を実施する。            なお、「Ⅱ. ピアノ」と「Ⅲ. 管楽器」については、<u>いずれかを選択すること。</u></p> <p>Ⅰ. 歌 曲            下記の2曲から任意の1曲を歌う。            1) Caro laccio                      F. Gasparini                      (Des, Es-Dur)            2) Sogno                                F. P. Tosti                        (As, B-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。            2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。            3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>Ⅱ. ピアノ（選択）            次の1)と2)計2曲を演奏する。            1) L. v. Beethoven：ソナタ 第11番 B-Dur Op. 22 第1楽章            2) F. Chopin：ワルツ集より任意の1曲            (注) 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。</p> <p>Ⅲ. 管楽器（選択）            次の楽器から1つ選択し、任意の楽曲又は練習曲を1曲演奏する。ただし、演奏は暗譜で行い無伴奏とする。なお、演奏の途中で中止させる場合がある            フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ</p> <p>(注) <u>選んだ楽器名、選んだ曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>Ⅳ. 楽 典            (解答時間 60分)            高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容</p>																		

(5) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 幼児教育専攻	I. 歌唱 II. ピアノ	幼児教育において必要な表現力及び基礎技能について評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	I. 歌曲 II. ピアノ III. 楽典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	中学校・高等学校の体育実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	I. 歌曲 II. ピアノ（選択） III. 管楽器（選択） IV. 楽典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。

(6) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内容	採点・評価基準
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心，また将来，特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる。	特別支援教育に関する知識と理解力，特別支援教育をとりまく諸課題に対する洞察力，障害のある子どもに関わることへのやりがいと使命感，特別支援教育の教職に就くことへの意欲などについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	教育学，心理学，道徳教育学への深い関心と，将来，学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる。	学校教育の教員への意欲と，教育学，心理学，道徳教育学に関する関心の度合い，認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	将来，国語科分野の小学校，中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために，教育に関する問題意識・態度について尋ね，くわえて，日本語に関する言語知識および言語文化について小文を提示し，その場で課題を課し，口頭で回答を求めらる。	面接をとおして，日本語に関する言語知識および言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ，応答における論旨の明確さ，洞察の深さ，論展開の的確さ，言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ，国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか，総合的に評価する。

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	将来、小学校・中学校の教員となるのにふさわしい資質と外国語活動または英語教育に関する理解・認識・関心度および英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	小学校、中学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識および言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	面接をとおして、日本語に関する言語知識および言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	将来、中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する理解・認識・関心度および英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	将来、中学校、高等学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	中学校、高等学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	将来、保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる。	中学校、高等学校保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる。	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解、認識、探究心及び運用能力を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、自らの意見を的確に表現する力をみる。	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、表現力を総合的に評価する。